

第3学年国語科学習指導案

- 1 単元名 見つけた説明の仕方を生かして「食べ物ひみつブック」を作ろう
「すがたをかえる大豆」「食べ物のひみつを教えます」

2 単元の目標

- 主語と述語の関係、修飾と被修飾との関係、指示する語句と接続する語句の役割、段落の役割について理解することができる。 (知識及び技能 (1) カ)
- 考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など情報と情報との関係について理解することができる。 (知識及び技能 (2) ア)
- 書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落をつくったり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考えることができる。 (思考力、判断力、表現力等 B (1) イ)
- 段落相互の関係に着目しながら、考えとそれを支える理由や事例との関係などについて、叙述を基に捉えることができる。 (思考力、判断力、表現力等 C (1) ア)
- 説明の工夫を叙述から進んで捉え、自らの文章に進んで生かそうとしている。
「学びに向かう力、人間性等」

3 評価規準

知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・主語と述語の関係、修飾と被修飾との関係、指示する語句と接続する語句の役割、段落の役割について理解している。(1) カ ・具体例を示すという段落の役割や、考えとそれを支える事例の関係を理解している。(2) ア 	<ul style="list-style-type: none"> ・「書くこと」において、書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落をつくったり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考えている。B (1) イ ・「読むこと」において、段落相互の関係に着目し、考えとそれを支える理由や事例との関係などについて、叙述を基に捉えている。 C (1) ア 	<ul style="list-style-type: none"> ・わかりやすい説明の仕方を叙述から進んで捉え、自らの文章に生かそうとしている。

4 単元について

(1) 本単元で行う主となる言語活動と扱う教材について

本単元では、筆者の説明の工夫を理解し、それらを活用して、児童自身が伝えたいと思う食べ物について説明する文章を書くという言語活動を行う。学習指導要領 B 書くことにおける言語活動例「ア 調べたことをまとめて報告するなど、事実やそれを基に考えたことを書くこと。」を踏まえている。

本単元は、「食べ物のひみつ教えます」(書くこと)において説明する文章を書くことを目的として、教材文「すがたをかえる大豆」(読むこと)を読んでわかりやすい説明の仕方を見つけながら読むという複合単元となっている。「すがたをかえる大豆」は、「はじめ・中・おわり」の三つの大きなまとまりで構成されている。「はじめ」の話題提示(大豆は、いろいろな食品に姿を変えていること・おいしく食べるための工夫があること)について、大豆の味や栄養を保つ工夫としての加工の種類を五つの事例で示し、「おわり」の筆者の意見(大豆のよさに気づき、おいしく食べてきた昔の人の知恵のすばらしさ)を説明した文章である。各事例の段落の並び方や、事例ごとの写真と文章が対応していることなど、「すがたをかえる大豆」には、さまざまな点で、読者に内容を分かりやす

く伝えるための説明の工夫が見られる。「いちばん分かりやすいのは」「さらに」などの書き出しの言葉も、細かく読み取ることで、事例が提示される順番にも工夫があることを見つけさせたい。中心となる言葉や文に着目しながら段落を読み進めることで、全体の組み立てを捉えたり、文章の説明の仕方の工夫を見つけたりして、読みを深めていきたい。

第一次では、「食べ物のひみつブックを作ろう」という単元全体の見通しをもたせる。単元全体の流れを確認し、学習活動のゴールをイメージできるようにする。

第二次では、教材文「すがたをかえる大豆」を読み進め、説明文の内容や文章の構成を捉えていく。わかりやすい文章を書くために、説明文の書き方を学ぶという、読むことの目的意識を明確にもたせるようにしていく。また、接続語や見た目のわかりやすさなどを考えさせたり、「おわり」から筆者の主張を見つけることで、事例の書き方には筆者の考える順序性や意図があることも捉えるようにしたい。

第三次では、第二次までに学習したわかりやすい説明のポイントをもとに、「食べ物のひみつブック」を作成していく。本で調べた内容は、まとまり（一文）ごとに一枚の情報カードに記入していく。そして自分なりの理由をもって情報カードを選択・並び替えを行うとともに、内容ごとに情報カードをまとめることで、段落にすることを意識できるようにしていきたい。

(2) 本単元で身に付けさせたい力

本単元は、わかりやすい説明の仕方を見つけ、それを生かして説明の文章を書く活動を通して、小学校学習指導要領の知識及び技能(1)言葉の特徴や使い方に関する事項カ「主語と述語の関係、修飾と被修飾との関係、指示する語句と接続する語句の役割、段落の役割について理解すること。」

(2)情報の扱い方に関する事項ア「考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など情報と情報との関係について理解すること。」、思考力・判断力・表現力等 B書くことにおける指導事項(1)イ「書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落をつくったり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考えること。」、C読むこと(1)ア「段落相互の関係に着目しながら、考えとそれを支える理由や事例との関係などについて、叙述を基に捉えること。」について指導する。

本単元で身に付けさせたい力を以下の3つとする。

- ①段落ごとにどのような内容が書かれているかを読み取り、段落の役割を理解する力
- ②段落相互の関係を理解する力
- ③わかりやすい説明の仕方を見つけ、内容ごとに段落をつくり、文章を書く力

本時は、「すがたをかえる大豆」で学習したことを生かして、「中」における文章の構成を考え、下書きを書く活動を行う。

5 児童の実態 (省略)

6 指導計画

次	時	主な学習活動	教師の指導・支援 (○) と評価 (◇)
第一 次	1	○「すがたをかえる」とはどういうことか考える。 ○「すがたをかえる大豆」「食べ物のひみつ教えます」を通読し、大まかな内容を捉え、単元の見通しをもつ。	○大豆の加工食品の写真を提示し、姿がかわることのイメージをもたせる。 ○初めて知ったことを交流し、それがどこに書かれていたかを尋ねることで、段落の意識をもたせる。 ○学習のゴールで「食べ物ひみつブック」を作成し、印刷後に図書室に置いたり、家族に読んでもらったりすることを伝

並
行
読
書

				え、目的意識や相手意識を高める。 ◇大豆がさまざまな食べ方をされていることに関心を持ち、文章を読もうとしている。(主)
	2	○難しい語句や調理に関する言葉の意味調べを行う。		○今後の活動につなげるため、調理方法に関連する言葉や接続詞を提示し、調べるように促す。 ◇接続する語句の役割を理解している。(知・技)
第二次	3	○段落ごとに小見出しをつけ、内容を整理する。		○「食べ物ひみつブック」を書くため、わかりやすい説明の仕方を見つけるという読むことの目的意識をはっきりさせる。 ○「こまを楽しむ」の学習をふり返り、段落の中で大切だと思う部分をキーワードとして考えるように伝える。 ◇各段落ごとに大事なところは何か考え、小見出しをつけることに進んで取り組もうとしている。(主)
		○九つの食品が5つに仲間分けられているのはどうしてかを考える。 ○「中」を手掛かりに、「はじめ」「おわり」の文章構成を読み取る。	並 行 読 書	○加工の仕方ごとに食品を仲間分けされていることから「くふう」という言葉に着目できるようにする。 ○「こまを楽しむ」の学習を振り返り、書かれている内容から「はじめ・中・おわり」の文章構成を考え、分けられるようにする。 ◇「中」において具体例を示すという段落の役割を理解している。(知・技) ◇段落相互の関係に着目し、「はじめ」「中」「おわり」の文章構成について、叙述を基に捉えている。(思・判・表)
	5	○「はじめ」における問いの文を考える。 ○問いに対する答えが段落の中心となることをふり返り、第3時の小見出しを修正する。		○「中」では、例示として「くふう」について書かれていたことを確かめ、「くふう」が答えとなるような問いの文を考えるように促す。 ○考えた問いの文を伝え合い、問いと答え(各段落の例示)が対応しているかを確認する。 ○小見出しを修正し、段落の中心を明確にすることで、段落が内容のまとまりになっていることを確かめる。 ◇例に対応する問いの文を考えている。(思・判・表) ◇段落の中心となる文を見つけている。(思・判・表)

6	<p>○「中」の各段落で、どのような内容が書かれているか読み取る。</p> <p>○筆者が挙げた例の順番を変えてよいかを考え、順番の意図を考える。</p>	<p>○各段落が「接続語」「大豆をおいしく食べるくふう」「食品名」「作り方や育て方」という共通の構成で書かれていることを確かめる。</p> <p>○「接続語」を手掛かりとして、「大豆だとわかりやすいもの」から順番に挙げられていることを捉えられるようにする。</p> <p>◇接続する語句の役割を理解している。 (知・技)</p> <p>◇事例の順序には筆者の意図がることにより気づき、自分なりに読み取った筆者の意図について書いている。(思・判・表)</p>
7	<p>○「おわり」における筆者の主張を考える。</p>	<p>○「おわり」の各文が、大豆に関する事実なのか、筆者の考えかを分けて考えるように伝える。</p> <p>○給食でよく出ている「チリコンカンスープ」や「SOYJOY」の写真を提示し、例に加えてもよいか考えることで、昔の人々のちえという叙述に気付かせるようにする。</p> <p>◇筆者の考えを叙述から捉え、事例の選択には筆者の意図があることを考えている。(思・判・表)</p>
8	<p>○これまでの学習を踏まえ、わかりやすい説明のポイントをまとめる。</p> <p>※次時までに、自分が「食べ物ひみつブック」に書きたい食材を決め、本を選んでおく。</p>	<p>○学習してきたことの掲示物やふり返りを確かめながら考えを書くように促す。</p> <div data-bbox="879 1234 1458 1675" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【わかりやすい説明のポイント】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「中」のまとまりに具体的な例を書く。 ・一つの段落に、一つの食べる工夫と食品を書く。 ・接続語を使う。 ・段落の最初に中心となる文を書く。 ・例を選んだり、例の順番を決めたりするときには、自分なりの考えがある。 ・絵や写真を使う。 </div> <p>◇これまでの学習から、わかりやすい説明の仕方を考えている。(思・判・表)</p>
9 10	<p>○自分の選んだ食材が、どのように姿をえるのかを調べ、情報カードにまとめる。</p>	<p>○食材を選ぶことが難しい児童には、米・麦・トウモロコシ・牛乳・魚・いもから選ぶようにアドバイスしておく。</p> <p>○本の中から必要な情報を探し出すことが難しい児童には、教師が箇条書きにした資料を渡し、その中から情報カードを作成していくようにする。</p>

並行読書

		<p>○食材がどのような食品になるかを調べ、その次に、どのようにして姿を変えているのかを調べていくことを確かめる。</p> <p>○調べてわかったことを情報カードに書く際には、1枚に一つの情報（文）を書くように伝える。</p> <p>◇本を読んでわかったことなどを意欲的に情報カードに書いている。(主)</p>
11 (本時)	<p>○情報カードの選択・並べ替えを行う。</p> <p>○例の選び方や順番についての理由が伝わるかどうか、ペアに説明する。</p> <p>○情報カードをもとに、「中」の下書きをする。</p>	<p>○わかりやすい説明のポイントを掲示し、いつでも確かめられるようにする。</p> <p>○例の選び方や順番に自分なりの理由を考えるように伝える。</p> <p>◇わかりやすく説明するポイントを踏まえ、内容のまとまりごとに段落をつくり、「中」の文章を書いている。(思・判・表)</p>
12	<p>○「はじめ」「おわり」の文を考え、下書きを完成させる。</p>	<p>○「はじめ」では、「すがたをかえる大豆」を参考に書くように伝える。</p> <p>○前時に考えた選び方や順番の理由を「おわり」のまとめに関わらせて書くように伝える。</p> <p>◇内容のまとまりで段落をつくり、「はじめ」「おわり」の文章を書いている。(思・判・表)</p>
13	<p>○完成した下書きを読み合い、良いところを伝えたりアドバイスをしたりする。</p>	<p>○段落の書き方は適切か、わかりやすい説明のポイントができているかなど、読み合うときの確認事項を用意する。</p> <p>◇わかりやすい説明のポイントをもとに、友達の文章のよいところや改善点を進んで伝えようとしている。(主)</p>
14	<p>○アドバイスをもとに、清書する。</p>	<p>◇「はじめ・中・おわり」の文章構成や段落をつくり、清書している。(思・判・表)</p>
15	<p>○友達と書いた文章を読み合い、感想を伝える。</p> <p>○単元の学習を振り返る。</p>	<p>○互いに読み合い、選択・並び替え説明の仕方と内容について感想を伝えることを確認する。</p> <p>◇読み合う活動に進んで取り組み、感想を伝えようとしている。(主)</p>

7 本時の指導（11 / 15）

（1）目標

○わかりやすく説明するポイントを踏まえ、内容のまとまりで段落をつくったり、段落相互の
関係に注意したりして、「中」の文章を書くことができる。

（思考力、判断力、表現力等 B（1）イ）

（2）展開

学習内容と児童の活動	教師の指導・支援（○）と評価（◇）
1 本時のめあてを確認する。	○前時までの学習を想起させ、集めた情報カードを選択し、「中」の下書きを書くことを確認する。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> 情報カードを整理し、「わかりやすい説明のポイント」を使って、「中」の下書きを書こう。 </div>	
2 教師が作成した事例をもとに、情報カードの選択・並び替えの仕方を話し合う。 ・ごはんともちを選んだのは、自分がよく食べるものだから。ごはんはそのまま炊くとできて、もちもち米を蒸してからつぶすよね。だから、ごはん・もちの順番にしてみたよ。	○教師が調べて作成した「米」の情報カードをギャグの Jambord を用いて選択・並び替えを行い、活動の見通しをもたせる。 ○ペア同士で、選択・並び替えを行った情報カードを紹介し、なぜそれを選んだのか、なぜその順番にしたのか、簡単に理由を説明させる。 ○「すがたをかえる大豆」をふり返り、筆者の意図があったように、自分なりの理由があればよいことを伝える。
3 一人一人が自分の情報カードの選択・並び替えを行い、「中」の例示の順番を決める。	○文章を書くときの段落が意識できるように、同じ段落に書くものは縦につなげるように伝える。 ○児童がどのように情報カードを整理しているか、机間指導をしながら把握する。選択・並び替えが進んでいない児童には、教師と話しをしながら理由を考えさせていく。
4 情報カードの選択・並び替え後、選択や順番の理由についてペアの友達に説明する。 ・家でよく食べたり、給食によく出ていたりして身近だと思うものを選んだ。 ・教科書と同じように、見た目で分かりやすいものを選んだよ。	○見通しをもつために行った「米」とは違うペアで行う。 ○理由がわかったかどうかを伝えることを確認する。またわかりづらかった場合には、並び替えのアドバイスや自分の考えを伝えるように促す。 ◇段落相互の関係に注意し、事例の選択・並び替えの理由を考えることができる。（思・判・表）
5 情報カードをもとに「中」の下書きを書く。	○まとまりごとに段落をつくり、文章を書くことを伝える。 ○下書きは途中になっても構わないことを確認する。 ◇内容のまとまりごとに段落を作って「中」の文章を書くことができる。（思・判・表）
6 本時のふり返りを行う。	○学習計画表をもとに、本時の活動で自分がどれくらいできたか満足度を自己評価する。